

JIS

抗菌加工製品－抗菌性試験方法・抗菌効果

JIS Z 2801 : 2010

(SIAA/JSA)

平成 22 年 12 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 消費生活技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	小 川 昭二郎	お茶の水女子大学名誉教授
(委員)	赤 松 幹 之	独立行政法人産業技術総合研究所
	秋 庭 悦 子	社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	大 熊 志津江	文化女子大学
	長 見 萬里野	財団法人日本消費者協会
	金 丸 淳 子	財団法人共用品推進機構
	河 内 憲 治	財団法人日本文化用品安全試験所
	河 村 拓	合同会社西友
	河 村 真紀子	主婦連合会
	小 熊 誠 次	社団法人日本オフィス家具協会
	後 藤 伸二郎	社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	櫻 橋 晴 雄	社団法人日本ガス石油機器工業会
	滝 田 章	社団法人消費者関連専門家会議
	中 里 憲 司	社団法人繊維評価技術協議会
	夏 目 智 子	全国地域婦人団体連絡協議会
	畠 山 孝	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	久 松 富 雄	財団法人家電製品協会
	若 井 博 雄	財団法人製品安全協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 12.12.20 改正：平成 22.12.20

官 報 公 示：平成 22.12.20

原 案 作 成 者：一般社団法人抗菌製品技術協議会

(〒151-0061 東京都渋谷区初台 2-23-5 パシフィックパレス新代々木 TEL 03-5365-2650)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：消費生活技術専門委員会 (委員長 小川 昭二郎)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 抗菌効果	2
5 試験方法	2
5.1 試験に用いる細菌	2
5.2 薬品, 材料, 器具及び装置	3
5.3 殺菌方法	4
5.4 培地など	4
5.5 細菌の保存	5
5.6 試験操作	6
5.7 生菌数の計算	9
5.8 試験結果	9
6 試験結果の記録	10
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	11
解 説	14

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人抗菌製品技術協議会（SIAA）及び財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 2801:2006** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権にかかわる確認について、責任はもたない。

抗菌加工製品—抗菌性試験方法・抗菌効果

Antibacterial products—Test for antibacterial activity and efficacy

序文

この規格は、2007年に第1版として発行されたISO 22196を基とし、日本の技術動向、実態などに併せて技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、繊維製品及び光触媒抗菌加工製品を除く、プラスチック製品、金属製品、セラミックス製品など抗菌加工を施した製品（中間製品を含む。）の表面における細菌に対する抗菌性試験方法及び抗菌効果について規定する。

なお、防かび、防臭、生物劣化などの抗菌効果の副次的効果は、この規格に含めない。

注記 1 製品の使用用途、形状などから、繊維製品の試験方法が妥当と判断される製品にあっては、JIS L 1902 に規定する箇条 10（定量試験）を用いてもよい。

注記 2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 22196:2007, Plastics—Measurement of antibacterial activity on plastics surfaces (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS K 0050 化学分析方法通則
- JIS K 0950 プラスチック製滅菌シャーレ
- JIS K 0970 プッシュボタン式液体用微量体積計
- JIS K 3800 バイオハザード対策用クラス II キャビネット
- JIS K 8101 エタノール（99.5）（試薬）
- JIS K 8150 塩化ナトリウム（試薬）
- JIS K 8180 塩酸（試薬）
- JIS K 8263 寒天（試薬）
- JIS K 8576 水酸化ナトリウム（試薬）